

## オクスフォード文学散歩

経営学部  
安藤 聡

今年度から夏期イギリスセミナーの開催地がオクスフォードに変わった。そこで今回は、この大学町に縁のある文学者たちの足跡を訪ねてみたい。なお、ご存知の方も多いと思うがオクスフォードの街のどこを探しても「オクスフォード大学(Oxford University)」は見つからない。オクスフォード大学とは、街中のあちこちに点在する35の「コレッジ(College)」の総称なのである。創立800年以上になるオクスフォード大学は、これまで数多くの優れた詩人、小説家、劇作家、それに文芸批評家などを輩出してきた。そのすべてをここで取り上げるのはもちろん不可能であり、これから挙げるのはごく一部に過ぎない。

ルイス・キャロル(1832~98、本名チャールズ・ラトウィジ・ドジスン)の『不思議の国のアリス』は主人公アリスが姉と共に川べりで静かな午後の時間を過ごしている場面から始まる。このアリスは19世紀中頃のオクスフォードに実在した少女アリス・リデルをモデルに書かれており、当時30歳だったドジスンが当時11歳のアリスをかなり本気で好きになってしまい、その報われない恋の痛みを昇華させたのがこの作品であると言われている。その頃ドジスはオクスフォード大学で最も有名なコレッジのひとつであるクライスト・チャーチの特別研究員・講師であり(専攻は数学・論理学)、アリスはクライスト・チャーチの学寮長ヘンリー・リデルの次女だった。『不思議の国のアリス』の冒頭の場面はクライスト・チャーチの傍らを流れるテムズ川(オクスフォード界限ではアイシス川と呼ばれる)を念頭に置いて描かれている。そもそ

もこの物語はドジスンがリデル家の三姉妹をつれてこの川で舟遊びをしているときに、アリスにせがまれて彼女を主人公にした荒唐無稽な話を即興で語り聞かせたことに始まっている。この舟遊びは1862年7月4日のことであり、この時彼らは川を数マイル遡ったゴドストウという小さな村まで行っている。ここにはゴドストウ・ナナリー(女子修道院)の廃墟と水門、それに「ザ・トラウト・イン」というパブがある。またクライスト・チャーチの正門の斜向かいには当時アリスらが菓子などを買いに行っていた萬屋があったが、これは現在「アリスの店」というキャラクターグッズなどを売る店になっている。『不思議の国のアリス』が創られた頃のドジスンとアリスの実話を映画化したのが『ドリームチャイルド』である。

英国の後期ロマン派を代表する詩人 P. B. シェリー(1792~1822)は1810年にオクスフォード大学ユニヴァーシティ・コレッジに入学している。このコレッジはハイ・ストリート沿いにあるが、広大な敷地を持つクライスト・チャーチと比べると幾分小さなコレッジである。革命精神に満ちた若き日のシェリー(尤も29歳で夭折しているが)は入学後一年足らずのうちに、「無神論の必要性」‘The Necessity of Atheism’ という小冊子を学友 T. J. ホッグと二人で書いて配布したため、ホッグ共々除籍処分になっている。ついであるがゴシック小説『フランケンシュタイン』の作者メアリ・シェリーはこの詩人の妻である。

トマス・ハーディ(1840~1928)の小説『日陰者ジュード』はケイト・ウィンズレット主演の映画『日陰のふたり』の原作としても知られているが、この小説に登場する架空の街クライストミンスターはオクスフォードをモデルにしている。ウェセックスの小村で生まれ育ったジュードは、地元の女アラベラに押し切られて結婚するがうまく行かない。妻が幼い息子を連れて出ていった後、彼は牧師になるために大学入学を夢見てクライストミンスターへ行き、石工として貧しい生活を送る。彼はこの地で従妹のスーと偶然出逢い恋に落ちるが、アラベラの存在を知ったスーは別な男と結婚

することになる。しかしながら恋愛感情を持たない夫との生活を嫌悪したスーは、ジュードの許に来て同棲生活を始めてしまう。ふたりは当時の英国社会の倫理観からすればとんでもない「日陰者」ということになる。ケイト・ウィンスレットはこのスーの役を好演している。

『ライオンと魔女』に始まる全7巻の長編ファンタジー『ナルニア国年代記』の作者C. S. ルイス(1898～1963)はモードリン(Magdalen)・コレッジの特別研究員(専門は中世・ルネサンス期の英文学)として生涯の大半を過ごしたが、夕刻にはしばしばセント・ジャイルズ通りにあるパブ「ジ・イーグル・アンド・チャイルド」に通い詰めていた。ここに集ったルイスの文学仲間の中には『指輪物語(ロード・オブ・ザ・リングズ)』の作者でオクスフォード大学の教授でもあったJ. R. R. トールキン(1892～1973)、オクスフォード大学出版局の要職にあつて優れた詩人・小説家でもあったチャールズ・ウィリアムズ(1886～1945)らがいた。彼らはこのパブを「ザ・バード・アンド・ベイビー」と呼んでいたらしい。ルイスらはいつも暖炉の前の特等席を陣取っていたが、今ではこの席から見える壁に彼らの写真が飾られている。イーグル・アンド・チャイルドからセント・ジャイルズを中心街の方向に少し戻ったところにランドルフ・ホテルがあるが、ここはルイスがアメリカの女流詩人ジョイ・デイヴィッドマンと初めて会った場所である。夫と離婚して息子連れ英国に渡ってきたジョイは帰化を希望するが永住権が得られず、同情したルイス(当時50代後半で独身)はジョイとその子供に永住権を与えるために彼女と「書類上の」結婚をする。やがてジョイは不治の病のため残り3ヶ月の命と宣告される。この頃ふたりの間には書類上の夫婦関係だけでなく自然な愛情が芽生えるが、ルイスの献身的な看病のためもあってジョイはそれから1年半生き延びた。と、ここまで読んで、このストーリーをどこかで聞いたことがあると思った人は映画『永遠の愛に生きて』を観た人でしょう。この映画でルイスを演じていたのはアンソニー・ホプキンスだった。ランドル

フ・ホテルで会う場面は実際にこのホテルで撮影されたが、本当は彼らはホテルのティー・ラウンジで待ち合わせていたのだが映画ではそのとりにあるレストランで待ち合わせていた。それから実際のところはジョイと最初に会ってから結婚するまでの間にルイスはケインブリッジ大学に転勤しているのだが(ケインブリッジでも偶然モードリン・コレッジに所属していた。ただしこちらは'Magdalene'と綴る)、映画では最後までオクスフォードに勤務していた。それからどうでもいいことだが映画の中でオクスフォード駅とされている駅は実はどこかよその駅であつて、現在のオクスフォード駅には当時の面影は全くない。



詩人ルイス・マクニース(1907～63)はマーティン・コレッジの出身である。未完の自叙伝『The Strings Are False』にはここでの学生時代の思い出が綴られている。トールキンもまたこのコレッジの特別研究員・教授を長く務めた(専門は古期英語)。トールキンは作品の中で'dwarf'(小人)の

複数形を‘dwarves’と綴っていたのだが(正しくは‘dwarfs’)、ある時このことを編集者に指摘された。この時編集者はこの英語学の大家の誤りを発見して鬼の首でも取ったかのような気分になり、調子に乗って「嫌だなあ先生、OED (Oxford English Dictionary) くらい引いて下さいよ」とか何とか言ったらしいが、トールキン先生は憮然として「OEDを書いたのは俺だ」と切り返したという。確かにトールキンはOEDの編纂者に名を連ねている。そして『ホビットの冒険』や『指輪物語』があまりにも広く読まれたために、今では多くの辞書が‘dwarf’の複数形として‘dwarfs’と‘dwarves’の両方を認めている。なお、関係ないが日本の皇太子が留学していたのもこのマートン・コレッジである。

オクスフォードの街を遠くから眺めるとコレッジや教会の尖塔 (spires) が林立しているのが見える。黄昏時のこの眺めを「ドリーミング・スパイアーズ」と謳ったのは詩人・批評家のマシュー・アーノルド (1822~88) である。アーノルドはベイリオル・コレッジ出身であり、在学中に学生が書いた優れた詩に対して授与される「ニューディゲイト賞」を受賞している。卒業後はオリエル・コレッジの特別研究員として、教育学と詩学の分野で活躍した。

と、このようにオクスフォード大学は優れた文学者を大勢育てているのである。しかしながら、ジョン・ミルトン (1608~74)、トマス・グレイ (1716~71)、S. T. コウルリッジ (1772~1834)、そしてウィリアム・ワーズワース (1770~1850) など、英文学史上に燦然と輝く大物が皆ケインブリッジ大学出身なのは何故だろう。

## 《質問》という名の 教師の宿題

法学部  
鄭 高咏

教室でよく質問を受けることがある。その場で答えられない場合は、私の宿題となるのだが、この場を借りて、その中の一部を紹介したい。

質問1：“买东西”の由来は？

中国語で“買い物”は“买东西”であり、決して“买南北”とはいわない。この“买东西”という言葉の語源をみてみよう。

一説によると宋代の著名な哲学者、朱熹の逸話に由来するという。ある日彼は街でかごを手にした親友の盛温如と行き会い、「どこへ行くのだね。」と尋ねた。「“去买东西”(買い物に行く)」との返事に、「“买南北”と言ってもよいではないか。」と朱熹が疑問を発すると、盛温如は答えていわく、「相生相克の理論で森羅万象を説く五行説に基づいているのだ。五行とは金・木・水・火・土であり、これに東・西・南・北・中の方角を当てはめると、東は木、西は金となり、金や木といったものはかごに入る。しかし、南は火、北は水となり、火も水もかごには入れられない。だから“买南北”とは言わないのだ。」

また清代の壘焯という学者によれば、この語の由来は後漢にまでさかのぼる。当時は商人が東の都洛陽と西の都長安に集中しており、この東西の都へ買い物に行くことを“买东”、“买西”と叫んだ。そして時がたつにつれ、“东西”は「品物」の代名詞となり、“买东西”という言い方が生まれたのである。

質問2：医者“大夫”、“郎中”というのはなぜ？

中国の北の方では医者のことを“大夫”といい、南の方、特に農村では“郎中”というが、この呼